

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成 (2) 協議会の内容

<p>家庭・地域・学校協議会</p> <p>家庭・・・PTA 会長                  地域・・・公民館長(1)・自治連合会会長(1)                  青少年育成会議(1)・児童クラブ(1)                  学校・・・校長、教頭、教務</p>
--

<p>※地域コーディネーター(2名)</p> <p>・栽培活動コーディネーター                  伊與 正博氏</p> <p>・朝倉氏遺跡コーディネーター                  朝倉氏遺跡保存協会長 岸田 清氏</p>
---

<p>①開催予定回数年間3回、中学校区連絡会1回</p> <p>②開催日程(予定) 1回目(6月)                  2回目(11月)                  中学校区(2~3月)                  3回目(2月)</p> <p>③協議内容</p> <p>ア 31年度教育方針と取組                  イ 地域と進める体験活動の推進                  ウ 学校評価を生かした教育活動の推進                  エ 家庭・地域・学校の連携                  オ 一乗児童クラブについて</p>
---

(3) 協議会における成果と課題

・学校前道路の見通しが悪く、通学路として安全とはいえない状況がある。集団登校の時間帯は交通量が多い時間帯であり、東郷駐在所へのパトロールの依頼、あさくらパトロール隊の充実を図ることで安全が確保されている。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- 地域の自然・歴史・文化を素材とした体験活動を取り入れることで、地域を愛し、地域を誇りに思い、地域に貢献したいと思う児童を育成する。
- 地域で働く人々との関わりを通して働くことの意義を知り、喜びや苦勞、地域への思いを理解し、一人一人の児童に「生きる力」を培う。

(2) 活動の実際

朝倉ガイド

今回で12回目をかぞえ、一乗小を代表する「地域に根ざした活動」の一つである。一乗地区の宝である朝倉氏遺跡を更に広めたいという児童の願いから、事前に朝倉観光ガイドの広報ポスターを作成し、保存協会をはじめ、地域の公的機関に出向いて依頼した。

朝倉ガイド当日は、7月頃から自分たちが調べてきたことをもとに、身振り手振りを交えて、観光客とコミュニケーションを取りながらガイドをすることができた。

さらに、1月以降は6年生の国語の学習と関連づけて、今年度も朝倉氏遺跡他、一乗地区の歴史的な場所、名所、祭り等、一乗地区の良さを紹介するパンフレットを作成する予定である。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・年1回(4月)地域コーディネーターと打合せ
- ・GTとして直接児童への指導、活動準備の支援、協力団体への連絡・調整。
- ・活動内容を地域へ広報。(「公民館だより」「保存協会ホームページ」等)

(4) 特に工夫した事項

- ・学校で児童が行っていることを保護者・地域の方だけでなく、より多くの人々に知ってもらうために、地域行事での発表、ホームページで紹介等、発信の工夫に努めた。

(5) 成果と課題

- ・地域と関わる活動の意義を自分たちで考えさせ、一乗地区の素晴らしさを「発信」したいという自発的な態度を大切にしながら取り組ませたことで、興味を持続させながら活動できた。
- ・観光ガイドは、当日たくさんの取材や地域の方からの応援をいただき、県内外からのお客様にたくさんお褒めの言葉をいただいたことで達成感を味わわせることができた。

